



学校だより

学校教育目標

郷土を誇りに思い、未来社会を生き抜く児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校

第22号

令和4年2月24日発行

文責 校長 宮地 浩幸

日日是好日（にちにちこれこうじつ）

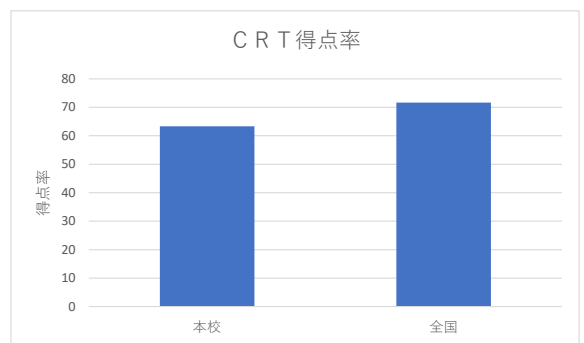
2月1日（火）に全校集会を行いました。本年度の集会も残り少なくなったので、子ども達に毎日を精一杯生きることを伝えたいと思い「日日是好日」という題材を用いました。漢字が5つも並んでいると小学校1年生には暗号のようでしょう。でも、小学1年生に「知ってる漢字はある？」と尋ねると「日」と答えて、「おんな」、「こ」と言いました。もちろん「好」の字の中から見つけたのです。また「是」にも「日」が入っています。これは子ども達の学びの一面を見るようでうれしくなりました。集会の中で漢字にフリガナをしなくても上級生が読んでくれますし、今回のようなこともあります。授業以外の場面でも子ども達は大きいに学ぶべきだと感じます。



話が別のところに行きましたが、日日是好日（にちにちこれこうじつ）は「ひびこれよきひ」とも読みます。まさに毎日毎日いい日だということです。ところが、生きてるといつもいい日ばかりではありません。それは実感できることですが、いい日だと感じる事ができないか。それを味わうスキルを身に付ける事ができないか。それが「日日是好日」の示すところです。それは、子ども達に瞬間瞬間を精一杯生きることだと伝えました。毎日何かに感動し、嫌だなと思えることも視点を変えてみれば自分に都合のいいことがあるかもしれません。まさにピンチはチャンスなのです。某テレビ局で流行っている「ボーっと生きてんじゃねえよ！」なのかもしれません。この瞬間に悔いが無いように。子ども達の学校生活が常に有意義であるようすることが私たち教職員の務めだといつも考えています。

標準学力検査 CRT 結果

1月20日（木）に小学校3年生以下の児童はCRT（標準学力検査）を受検しました。CRTは各教科における各学年の準拠目標にどのくらい到達しているかを図る検査（テスト？）です。小学4年生以上が受検した県学習状況調査と目的をほとんど同じにしたものです。その結果の概要を示しますが、学習状況調査の時と同じように、子どもの数が少ないために全児童の全教科の全問題の平均正答率を全国平均（1問当たりの正答率）と比較してみました。勿論それは1つの指標にすぎません。しかし、本校の学習に対する傾向の1面を示すこととなります。結果は、全国平均を少し下回る結果になりました。全国学習状況調査における佐賀県の成績は全国平均を少し下回りますので、県の平均とはもう少し近い値になると予想されます。また、子ども達の学習意欲は、全国平均を上回っています。これはとても大切なことで、



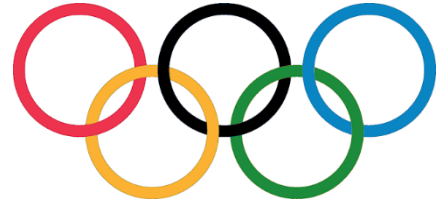
結果は、全国平均を少し下回る結果になりました。全国学習状況調査における佐賀県の成績は全国平均を少し下回りますので、県の平均とはもう少し近い値になると予想されます。また、子ども達の学習意欲は、全国平均を上回っています。これはとても大切なことで、

今後大きく飛躍できる可能性を秘めているということです。

今回の結果を振り返り、学校としての課題も見えてきました。また、個別に配布される成績表には、今後伸ばすところ、頑張るところを示してあります。ご家庭の方でも子ども達と話をされて今後の学習の一助になれば幸いです。学校と家庭の協力で子ども達の学力向上に寄与したいものです。

自分の目標をしっかり持とう（目標は小刻みに）

先日まで、連日北京オリンピックの日本人の活躍が報告されていましたが、果たしてどれだけのアスリートが思い通りの成績を収めることができたかと考えれば、本当に一握りの人たちだけだと考えられます。毎日毎日血のにじむような努力をしても、結果で示すことがどれほど難しいかよく分かります。先日本校の小学5年生がテニスの九州大会に出場しました。残念ながら、1回戦で敗退したようですが、負けた相手は九州チャンピオンだったそうです。このことは、次の目標につながります。実際に九州チャンピオンと対戦出来たことで、「九州で優勝するにはどのくらいのスキルが必要なのか」、それは、実際に試合をすることで相手に対して自分の技術が通じるところ通じないところを肌で感じることで分かると思います。従って、今度は自分の弱点をどのように克服するかが次の目標になるわけです。そういう意味でとてもいい経験をしました。



部活動を指導するときに、勝つことを目指して練習しますが、ふつう負けたことのない人（チーム）は1つしかありません（基本優勝したチームだけが勝ちっぱなしです。）。基本ほとんどの人（チーム）はどこかで負けるのです。負けることが悔しいと思えるから、新たな目標が生まれます。問題は自分の目標をどこに設定するかです。今、テニス部は中学生と小学生がそれぞれ1名ずつで活動しています。一緒に練習していると二人のスキルが高いことが分かります。佐賀県代表で九州大会に出場しているので、県下で上位であることも間違いないし、実際に鋭いショットをある程度制御できます。校長たちも「歯が立たない」と思えることがしばしばです。ところが、その域で満足していると県外に出たときに、悔しい思いをすることになります。子ども達はそれぞれに現状の自己の力というのがあります。その少し上を常に目指して努力すること、そしてそれを継続し、小刻みに適切な目標設定をし続けることが、自己を常に高める秘訣だと感じます。

グラウンドに大根

2月14日（月）の清掃活動はグラウンドの除草作業でした。みんな一生懸命作業をしている中で小学1年生が「校長先生大根があります。」と教えてくれました。近づいてみると大根の葉に似ています。そこで少し掘ってみると白い太い根っこが見えてきました。まさに大根です。それを確認して、大根を掘り出して、見つけた子どもに渡しました。大喜びです。学校園には毎年、野菜の苗を植え秋に収穫します。しかし今回はグラウンドの北側に大根が生えていたのです。ひょっとして昔そこは、畑だったのかもしれない。島の子供も達は、農作物がどのようにして畑でできているか知っていると思いますが、町の子供の中には大根をスーパーでしか見たことのない子どももいます。今回の件は、普段あまり体験できない貴重なことだと思いつつ同時にグラウンドに育っていた大根の生命力に感動でした。



感染予防の徹底をお願いします

オミクロン株が猛威を振るっています。10代以下の子ども達に感染する割合が高いので、寒さに気を取られ、感染対策を忘れがちにならないよう十分気を付けて欲しいと思います。うがい、手洗い、換気、マスク、3密回避等を心掛け、睡眠、食事、規則的な生活習慣を徹底してください。